

山行報告書

作成:2007年6月3日 愛知岳連 岡崎
山岳会

山名[山域]	祖母山、阿蘇山、九重山	目的[方法]	ヤマクリシマ鑑賞/九州北部 100 名山
期間	2007年6月1日(金)~3日(日)	形態	日帰り往復
参加人数	1人		

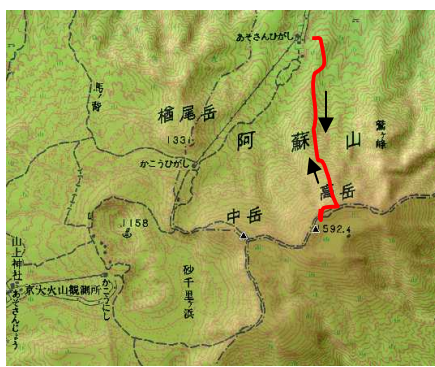
行動記録:

6/1(金) 羽田空港(12:00)==大分空港(13:25, 14:00)==大観峰 = 草千里 = 内牧温泉==道の駅「波野」
 6/2(土) 道の駅「波野」(5:10) = 北谷登山口(6:10, 6:30) - 三国境(7:25, 7:30) - 国観峠(7:40) - 祖母山(8:10, 8:20) - 国観峠 - 北谷登山口(9:40, 10:00) = 仙酔峡(11:20, 11:40) - 阿蘇山(高岳)(13:15, 13:20) - 仙酔峡 = 仙酔峡温泉かんぼの湯 = 道の駅「波野」
 6/3(日) 道の駅「波野」(4:30) = 長者原P(5:20, 5:40) - 諏蛾守越(6:55, 7:00) - 久住別れ(7:35) - 久住山(7:50, 7:55) - 中岳避難小屋(8:15, 8:30) - 中岳(8:45) - 久住別れ - 諏蛾守越 - 長者原(10:40, 11:00) = 湯布院温泉、温川温泉(11:50, 12:50)==大分空港(14:30, 16:15) = 羽田空港(17:40)

概念図: 【祖母山】



【高岳】



【九重山】



日誌:九州北部の100名山を、ヤマクリシマの時期に合わせ企画した。6/1は昼のチケットしか取れなかったため、移動のみとなった。30数年前阿蘇を尋ねた際、印象的だった草千里に行った。30数年前と変わらぬ景色で感動であった。夜は内牧温泉で汗を流した後、道の駅「波野」に移動し、ピーキャン。九州南部は梅雨入りとの予報、天気心配だ。

6/2、いやな予感は当たり、雨が降ったりやんだりの中、祖母山の最短ルートである北谷に移動した。北谷登山口にはトイレがあり、10台くらいは駐められそう。ガスで山の上は全く見えない。霧雨の中、千間平コースに登山開始。標高が上がるにつれ、霧雨から小雨になった。頂上では全く展望がなく、風が冷たいので早々に下山した。この時期特に花もなく、単に登っただけという登山になってしまった。

下山後、仙酔峡に移動した。6/3までヤマクリシマ祭りが開催されているが、このあたりの花は、ピークを完全に過ぎ、咲き残りがちらほらある程度であった。最盛期には、かなりの花見客が繰り出すようである。当初、ロープウェイで中岳火口に上がり、稜線伝いに高岳に登り、仙酔峡に下る予定であったが、強風のためロープウェイが運休していたため、仙酔峡から高岳ピストンに切り替えた。このコースは、溶岩で出来た岩尾根の急登であるが、フリクションがよく効くため、雨の中でもすべることはない。稜線に出るとかなり風が強く、高岳頂上まで200mを慎重に歩を進めた。ここでも早々に頂上を後にした。状況によっては、中岳～火口経由で仙酔峡に下ることも考えたが、強風＆視不良のため、来た道を引き返した。濡れぬずみ状態であったため、最寄の仙酔峡温泉かんぼの湯で温まった。そして、今日も道の駅「波野」へ。天気予報は、翌日も雨と言っている。

6/3、今日も小雨&強風。長者原に移動。駐車場には車が一杯だ。昨日が山開きの前夜祭であったため、たくさんの方が山に入っているであろう。KHさんではないが”制服”に身を包み、意を決して出発。40分程で林道は終わり、登山道となった頃から待望のヤマクリシマが見え出した。来たかいたがあった。諏蛾守越あたりは風の通り道になっているせいか、かなり風が強い。本来なら気持ちのいいただ広い河原を越えると、急NA登りNIになるが、程なく久住分かれについた。強風＆視界不良のため久住山も中岳も早々に引き上げた。予定では坊ツルに下り、大船山のピンクに染まっている(だろう)斜面を眺めて長者原に下る予定であったが、来た道を引き返した。残念!!。下山後、大分道が濃霧のため通行止だったので、湯布院の温泉経由で下道で空港まで帰った。

【温泉】 内牧温泉、入船 @400、仙酔峡温泉、かんぼの湯 @450、湯布院温泉、温川(ぬるかわ)温泉 @400

感想:九州北部に行くならヤマクリシマの時期(5/下~6/上)と決めていた。念願になって6/初に行ったものの、例年より早い梅雨入りで雨、雨、雨の山行となってしまった。大船山のピンクに染まる斜面を見られなかったのは残念であったが、長者原からのルートにも、多くのヤマクリシマが咲いていたのがせめてもの救いであった。

6/3は九重山の山開きの日であったが、悪天候のため、当然行事は中止された。ちなみに大船山と久住山で1年おきに山開き行事が行われるそうである(今年は久住山の番)。

